



里山の歴史・生活を知る！生きた本物の“蚕(かいこ)”飼育展示 蚕の生態ガイド(説明)を開催！



越の里山館で飼育展示中の蚕(平成29年6月11日撮影)

謹啓 向暑の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

こくえいえちごきゅうりょうこうえん さとやま 越の里山館 かいこ
国営越後丘陵公園では里山フィールドミュージアム内「越の里山館」において、6月18日(日)まで本物の生きた“蚕(かいこ)”の飼育展示を行っています。

- 6/17(土)、18(日)に、かいこ 蚕の生態ガイドを開催。(10:30～15:00 開催)
- 旧山古志村で先進的に取り組まれていたようさん 養蚕風景を「越の里山館」で再現。
- 新潟県内で唯一ようさん 養蚕を営んでいるあさひむら 朝日村まゆのはな かい 花の会の協力を得て展示。

皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載を賜りますようお願い申し上げます。 謹言

【配布先】長岡市政記者クラブ、新潟県政記者クラブ、他

【お問合せ先】

〒940-2082 新潟県長岡市宮本東方町字三ツ又1950-1

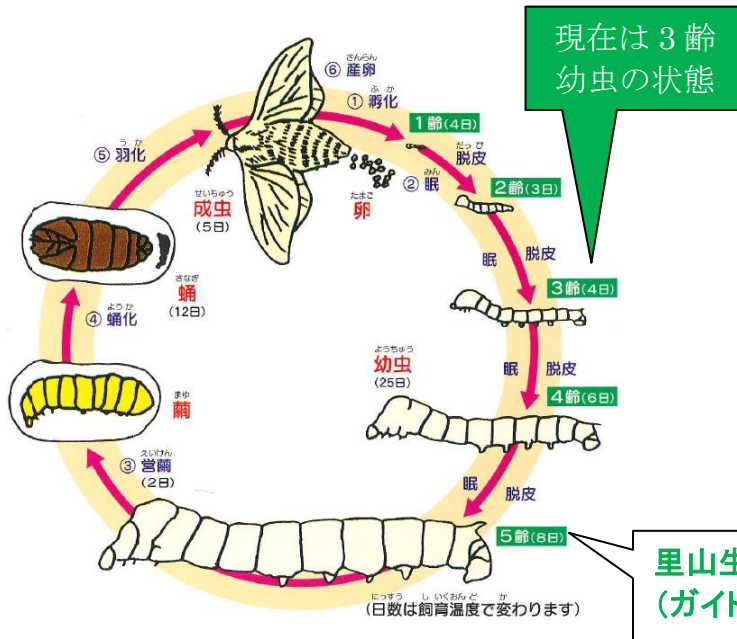
こくえいえちごきゅうりょうこうえん 越後公園管理センター 企画運営グループ 担当:滝・松田・中野・小林

電話 0258-47-8001 FAX 0258-47-8002

担当携帯 080-3418-2395 公園HP <http://echigo-park.jp/>

●蚕(かいこ)の生態ガイド

- ・蚕は、卵→幼虫→さなぎ→成虫(蛾)の4つの形に変わります。
- ・現在展示している幼虫は、「桑の葉」を食べて大きくなり、4回眠と脱皮を繰り返します。
- ・幼虫になってから約25日で、幼虫は糸をはき、約2日であらだを包み込む繭をつくります。



里山生活に詳しいスタッフがガイドします。
(ガイド時は5齢幼虫を公開予定)

参考資料：蚕-かいこ- (養蚕技術普及資料)

あさひむらようさんすいしんきょうかい
朝日村養蚕推進協議会発行

●“蚕(かいこ)の飼育展示”と“越の里山館”

旧山古志村では、大正時代まで養蚕が盛んに行なわれていました。

現在、新潟県内で養蚕を営んでいるのは、村上市朝日地区のみで、「朝日村まゆの花の会」を組織し、まゆクラフトなどに使用する材料として生産しています。

今回の飼育展示は、この「朝日村まゆの花の会」から蚕の幼虫を譲り受けて実施しています。



エサの桑の葉を食べる蚕



越の里山館2階の養蚕部屋 ※蚕の展示は1階

国営越後丘陵公園里山フィールドミュージアム内に立地する「越の里山館」は明治時代の民家を再現した建物で、中越地震で被災した旧山古志村にあった古民家の部材を活用し、平成26年11月1日に開館しました。「越の里山館」の2階に設けられた養蚕部屋では、養蚕に先進的に取り組まれていた、その当時の様子を見ることができます。

越の里山館へは、里山口より徒歩で約10分、ウェルカムゲートより園内バスで約20分です。